

成果指標の設定について

2006年12月18日

本日は、重点目標に対する成果指標の確認及び上位指標の検討を行ってみます。

1

●市部会からの質問の回答を検討する

2

●重点目標に対する成果指標を確認する

3

●さらに上位の指標について検討してみる

3つの重点目標

都市像

【重点課題①】

50万都市の顔として品格がない
JR宇都宮駅周辺

【重点課題②】

適切でない交通サービス

【重点課題③】

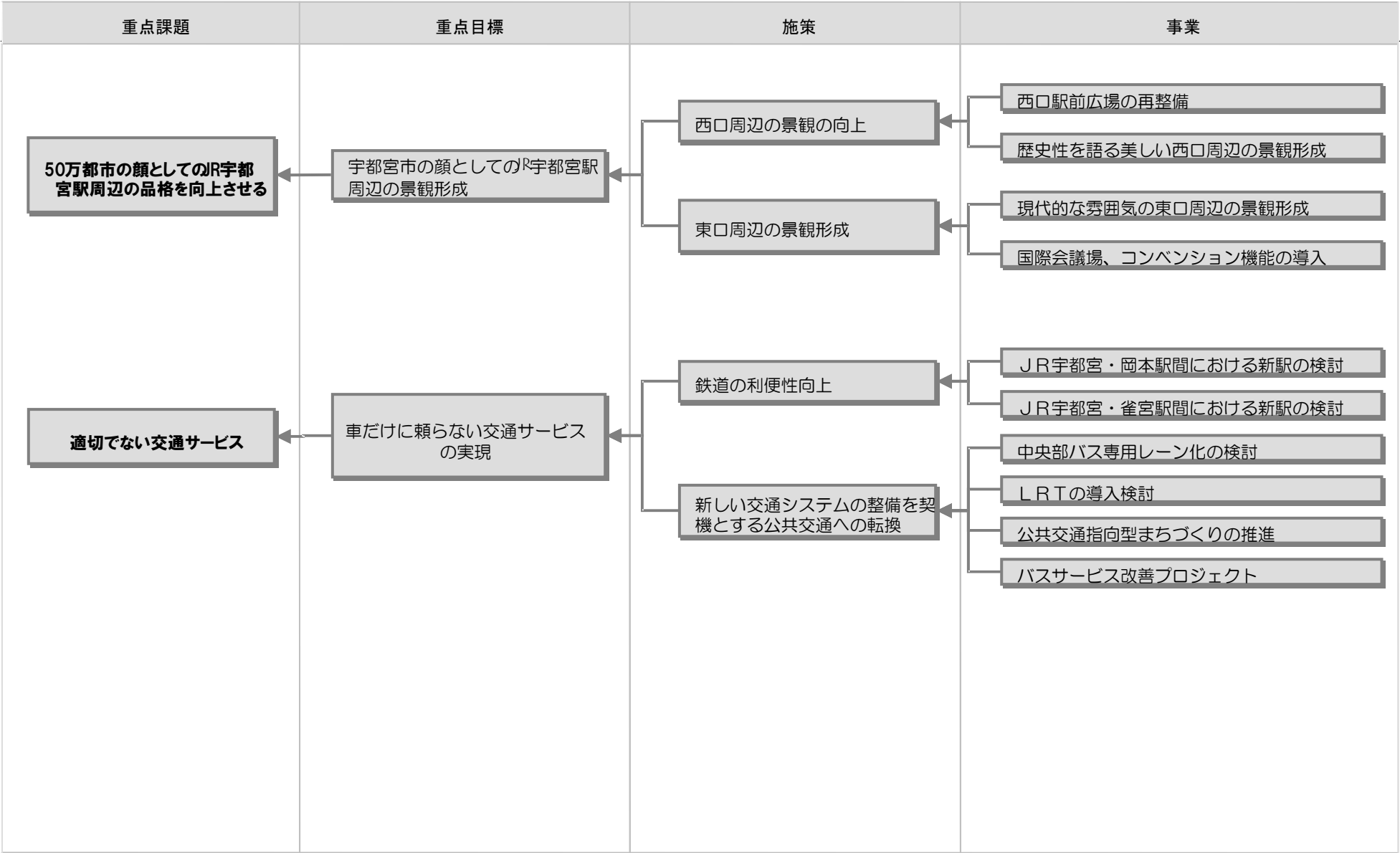
個性と魅力が十分に発揮できて
いないまち

都市と自然が
調和し、人にや
さしいコンパク
トな都市をめざ
して

3つの重点目標

- ① **宇都宮市の顔としてのJR宇都宮駅周辺の景観形成**
→広域からの玄関口であるJR宇都宮駅周辺の景観形成、機能強化を図る。
- ② **車だけに頼らない交通サービスの実現**
→高齢社会に対応し、鉄道の利便性の向上、既存バスサービスの改善、新しい公共交通システムの導入の検討など、車だけに頼らない交通サービスの実現に向けて、抜本的な改善を図る。
- ③ **地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進**
→地域のみどりや資源を活かし、魅力あふれる宇都宮市を形成する

【施策体系】



【施策体系】



前回のまとめ

成果指標案

目標	なしてほしい状態	成果指標	定義、出所
①宇都宮市の顔としてのJR宇都宮駅周辺の景観形成	公共交通の利用客が増え、JR宇都宮駅が安全に快適に活用されている。駅前の景観が風格を感じさせる。	JR宇都宮駅乗降客数	・JR東日本資料
		JR宇都宮駅利用客顧客満足度	・安全性、歩行者快適性、自動車快適性などについてアンケート調査で満足度を把握
		景観ガイドライン遵守建築物割合	・景観ガイドラインの作成を前提として、駅前地区における遵守している建築物割合
②車だけに頼らない交通サービスの実現	公共交通機関が良くネットワークされており、サービスも改善され、日常的に活用されている。自転車の利用環境も整っている。	公共交通機関不便地域居住率	・公共交通機関を利用して中心市街地まで30分（例）で到達できない地域に居住している人口比率
		公共交通利用者数	・公共交通（バス、鉄道等）の利用者数
		自転車利用率	・市民モニターなどへのアンケートで自転車利用度を把握
③地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進	地域に緑があふれ、大谷石の個性的な建造物多く、まちに賑わいがあふれている、	緑被率	・市域面積のうち緑で覆われている地域面積率
		都心部商業売上高	・都心立地商業施設の商業販売額
		八幡山公園利用者数	・八幡山公園、宇都宮タワーの利用者数
		釜川プロムナード歩行者数	・釜川プロムナード歩行者通行量
		大谷石造建造物数	・大谷石が使われている建造物数
		大谷地域来訪者数	・大谷地域の主要施設の来訪者数合計

考えてみよう

都市基盤整備分野でもっとも基本的な指標は？ 何を具体的に実現したいか

第5次総合計画 施策体系（案）

政策の柱（目的）		基本施策	施 策	備 考
5	都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高める	1 機能的で魅力のある都市空間を形成する	1 地域特性に応じた土地利用の推進	
			2 都市機能の適正配置と機能間連携の推進	
			3 賑わいと活力のある都市拠点の形成	
			4 魅力ある地域・生活拠点の形成	
			5 景観意識の高揚	
			6 地域資源を生かした景観の保全・創出	
		2 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する	1 公共交通ネットワークの充実	
			2 道路ネットワークの充実	生活道路，幹線道路，都市計画道路
			3 ひとや環境にやさしい交通環境の創出	
		3 高度情報化社会の恩恵を享受できる体制を構築する	1 市民生活の情報化の推進	
			2 地域産業の情報化の推進	